



市立室蘭総合病院 広報誌

くじらんネット

病院の理念 おもいやりの心がかよう病院

病院の基本方針

- ・信頼される医療を持続的に提供します。
- ・自治体病院としての役割と責任を担います。
- ・経営の健全化と効率化に努めます。

“災害”＝「心の共感力」

市立室蘭総合病院 事務局長 **新井** はじめ



夜明けが一番暗く、春の手前が一番寒いといひます。その時も真っ暗でした。9月6日未明“ぐらっ”ときた揺れと、携帯の激しい警報と「地震です」の連呼で目が覚め、飛び起き、長い一日が始まりました。かなり揺れましたね。皆さんも驚かれたことと思います。今回の震災では胆振中東部を中心に全道において被害が出ました。被災されました皆様には、心からのお悔みとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

私は家の中と家族の無事を確認し、すぐに着替えて病院へ向かいました。自然はいつも人にやさしいとはいきません。だからこそ知識という備えが必要なのかもしれません。地震や火山の噴火など、地球にとってはちょっとした変化なのかもしれませんが、私たち人間には大きな災害となります。このような災害で大事なのは対策と対応、そして何よりも準備。と、もう一つ重要なものが「経験」です。「経験」とは起きた事柄ではなく、起きた事柄に自分が何をしたかです。皆さんはどうですか？市立病院は毎年様々な大規模災害を想定した訓練を行っています。もしもの時にいち早く対応と対策をとれるように、そしてその準備もしています。日常もそうですが、皆



さんの「いのち」を守り助けるためです。もちろん公的病院としての役割もしっかりと果たします。

「感謝はするものだ、されようと思うな」、「人は平等なのだから平等にやさしくしなさい」寡黙な父が私に残した言葉です。この言葉と情熱を重ね合わせて、今日も「皆さんから愛される病院づくり」にむけてまっすぐに向き合っていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

専門外来のご紹介

美容皮膚科外来

皮膚科医長 おおくほ 大久保 あやか 絢香



高齢化社会が進むにつれてQOL (quality of life、生活の質) の向上が重視されるようになり、抗加齢医療の意義および治療ニーズが大きくなってきました。年齢とともに気になる肌の変化、また他人には言えず気分が落ち込み自信を失うような肌の悩みはどの世代でもあるかと思えます。

今回新たに開設させていただいた「美容皮膚科外来」は、そのような肌のダメージを皮膚科学に立脚した診断で、医学的根拠のもとに治療をしていきます。

主な対象疾患は、しみ、そばかす、くすみ、かんぱん肝斑、にきび、男性型脱毛症、多汗症、巻き爪などです。疾患状態に応じて、レーザーやイオン導入、ボトックス注射、飲み薬、塗り薬を選択併用しながら、保険外診療を中心に行います。加齢にともなう外見上の衰えを改善して、みなさまのQOLの向上に寄与できればと願っております。



Qスイッチ・アレキサンドライトレーザー

しみや青あざの治療に用いるレーザーです。しみのメラニンだけにレーザーが反応し、徐々にしみを薄くすることができます。皮膚にレーザーが当たる時間は極めて短いため、表皮へのダメージも少ない治療を行うことができます。

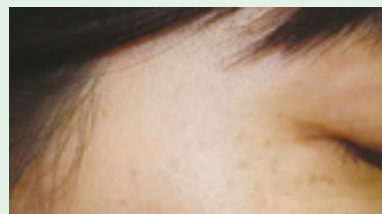
Qスイッチ・アレキサンドライトレーザーを照射した老人性色素斑(しみ)の治療例(40代女性)



照射前



照射2週間後



照射2ヶ月後

※料金は1ショット (5mm×5mm) 1,000円です。
※色素沈着、火傷等の副作用が現れる場合があります。

トレチノインおよびハイドロキノン(塗り薬)を使用した老人性色素斑の治療例(60代男性)



使用前



使用1ヶ月後



使用2ヶ月後

※料金はトレチノイン：10g 600円、ハイドロキノン：10g 750円です。

※それぞれ1日に1回、夜に塗布していただきます。

期間は4週間(トレチノインは最初の2週間のみ)です。

※かぶれ等の副作用が現れる場合があります。

美容皮膚科外来は**毎週水曜日14時から**診療しています **(完全予約制)**

NEW

認定看護師のご紹介

認定看護師とは、高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。日本看護協会が定める教育課程を修了し認定試験に合格することで得られる資格で、当院では9分野9名の認定看護師が活動を行っています。看護現場において認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たし、看護の質の向上に努めています。

今回は2017年以降に資格を得た2名の看護師をご紹介します。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

すが わら だい すけ
菅 原 大 輔



脳卒中とは、「脳が卒然(そつぜん)と中(あた)る」という通り、普通の生活をしていた人に突然発症し、運動麻痺・意識障害・言語障害・高次脳機能障害など様々な症状が出る病気です。また、脳卒中は、死亡原因の第4位、介護保険における要介護5(寝たきり)の原因疾患の第1位でもあります。一命を取り留めたとしても後遺症や合併症が重なり「寝たきり」になる患者さんやその介護で疲弊するご家族がこの西胆振地域にも大勢おられます。脳卒中を発症すると、「話す」「食べる」「歩く」「排泄」など多くの日常生活が送れなくなり、それまでの「自分らしさ」や生き方すら変えなくてはならない場合があります。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、「自分らしさ」が損なわれた患者さんの生活を再構築し、自立した生活や社会復帰など将来を見据えた看護を実践しています。脳卒中の重篤化・合併症予防のケア、病状に応じた早期リハビリテーションの介入など、様々な医療職者と協働し、地域とも連携しながら、常に患者さんにご家族の支援者として活動していきたいと思えます。



摂食・嚥下障害看護認定看護師

いわ もと たか し
岩 本 高 始



摂食・嚥下とは食べ物を目で見て、手で口に運び、歯で噛み(咀嚼)、飲み込み(嚥下)、食道へと送り込む過程のことです。その過程に障害が起こる病気には、脳血管疾患、認知症、パーキンソン病などの神経筋疾患、頭頸部がん、小児の疾患では口唇口蓋裂、脳性麻痺などがあります。私たちは、摂食・嚥下障害により「口から食べる」ことが困難となった方に対して、飲み込みの評価を行い、その方の能力を最大限に発揮できるように訓練を行います。そしてその方に適したお食事の形態を考えます。また、一人でも多くの方に「好きな物を口から食べる幸せ」を届けられるように最善を尽くします。ご自身はもちろん、ご家族や知人で飲み込みや栄養管理に不安のある方の手助けをさせていただきます。また、市民公開講座などを通して地域の皆様との関わりを大切にしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

市民公開講座のお知らせ

市立室蘭総合病院では、市民の皆様を対象とした市民公開講座を開催しています。参加は無料です。事前の申し込みも必要ありません。どうぞお気軽にお越しください。

第3回市民公開講座＋第9回ひまわりサロン

「がんになっても私らしく過ごそう」

日時：11月13日(火) 10:30～

会場：市立室蘭総合病院 2階 講堂

内容：11:00～ アロママッサージ体験、栄養補助食品の展示など様々な展示・体験ブースが開場
13:00～13:30

特別講演「あなたを支える緩和ケア ～がん治療・緩和ケアの基本と当院の取り組みについて～」

講師／消化器内科科長・化学療法室室長 小野寺 馨 医師

13:30～15:00

講演「中皮腫患者として、伝えたいアスベスト(石綿)疾患患者の現状と今後」

講師／勝沼 範和さん・田中 泰実さん(中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会)

第4回市民公開講座

「脳卒中 予防でいきいき 健康長寿」

日時：11月29日(木) 18:00～

会場：市立室蘭総合病院 2階 講堂

内容：講演1「こんな症状 ピンときたら 119番」

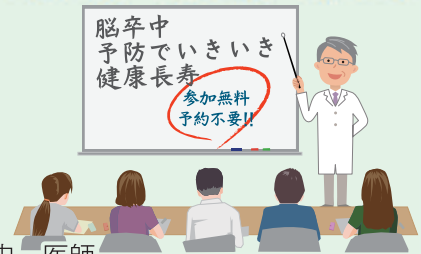
講師／脳神経外科部長・脳卒中センター長 大山 浩史 医師

講演2「脳卒中 再発予防のススメ」

講師／脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 菅原 大輔 看護師

講演3「食べる前の嚥下体操でお口の準備をしましょう」

講師／摂食嚥下障害看護認定看護師 岩本 高始 看護師



第5回市民公開講座

「もしも“がん”と言われたら

～知ってほしいがんの診断・治療と当院消化器病センターの取り組み～

日時：12月1日(土) 10:00～

会場：市立室蘭総合病院 2階 講堂

内容：がんの診断・治療に関する当院消化器病センターの取り組みをご紹介します。

講演1／消化器内科科長・化学療法室室長 小野寺 馨 医師

講演2／入退院支援室

講演3／地域連携室

講演4／訪問看護室

●休日における乳がん検診のお知らせ●

実施日：平成30年12月9日(日)

受診人数枠：40人

(完全予約制です。お電話でご予約ください。)

検診内容と料金：

●マンモグラフィー検査(40歳以上)：4,500円(税込)

●エコー検査(20～39歳)：3,500円(税込)

●マンモグラフィーとエコー検査併用(40歳以上)

：8,000円(税込)

※女性技師が対応いたします。

※マンモグラフィー検査は無料クーポンや助成制度が利用可能です。



市立室蘭総合病院 広報委員会

〒051-8512

室蘭市山手町3丁目8番1号

事務局総務課

TEL (0143) 25-3111 FAX (0143) 22-6867

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/>